

# 「量りを良くしよう!!」

～ 愛されたあなたを愛する ～ ルカ6:27～43、Ⅱコリント5:19～21

最近、大変な生態系に影響が起きています。最近はずっとエルニーニョ（変化をもたらす現象）と反対のラニーニャが続いて正常ということがないのです。もう地球は戻れなくなってきています。だから神様は「あなたが戻りなさい」と言っています。何を戻すべきでしょうか。「与えなさい。そうすれば自分も与えられます。人々は量りをよくして、押しつけ、揺すり入れ、あふれるまでにして、ふところに入れてくれるでしょう。あなたがたは、人を量る量りで、自分も量り返してもらうからです。」（ルカ6:38）

## ■ 世々にわたる祝福される法則

あなたの量りはどのようなものですか。イエス様はエルニーニョ（起きてる現象を変える）なのです。私たちは出会ってきた人の価値観を継承してそれが常識だと思っています。しかし聖書が伝えていることが「常識」です。クリスチャンとして日本を作り上げてきた森永製菓の社長の森永太郎、中村屋の相場愛三、山崎製パンの社長の飯島藤十郎、森村グループの森村市左衛門。この人たちはみんなが選んだ決断じゃない決断をした人たちです。だから戦時中の子供たちが沢山救われ、結果良いものが継承されました。こうして沢山の先人たちがその時その時に正しい生き方をしてきました。何故出来たかということ、彼らは他の人たちが持っていない量りを持っていたからです。

## ■ ① 良い量りか悪い量りか？

悪い量りは悪いものを乗せると、より悪いものを相手に与えます。人は1つの量りしか持っていません。私たちは育ってきた中で様々な影響を受けました。痛みも受けたし、傷も負い、それにより知識が得られました。そのままだと自己防衛の道具ですが、その知識を元に神様があなたに知恵を与えるのです。「神がすべてのことを働かせて益としてくださる」（ローマ8:28）と書いてある訳ですから、過去から遡って今日まで益にされます。益にする方法は唯一、癒しと赦しです。あなたの辛かった過去の部分を全部排除し、プラスだけ残すためにイエス様は十字架に進んだのです。だから私たちは良い量りを持たないとイエス様の十字架は全く無駄になります。イエス様は命がけで十字架に生きました。日本人が一番持っている目は周りを気にする目です。今までこうだったからこれからもこうするという考え方です。それさえやめれば玉に傷なのです。先人たちが特別だから出来たのではなく、決断したから出来たのです。私たちは良い量りにすると決断が大事なのです。

## ■ ② 執着を捨てる!!!

良い量りにしなくてはと分かっているのに何故出来ないのでしょうか。それは執着をしているからです。執着は、地位や、名誉、お金など分かりやすいものもありますが、分かりにくいものが結構あります。見えないプライド、これでほとんどが壊れているのです。しかし、執着しているものを持ったままで神様のもとについていくことは出来ません。「裕福な者が神の国にはいることは、なんともむずかしいことでしょう」（マルコ10:23）行いも正しくやっていることも良かったけれどこの人はお金に執着していたのです。では金持ちじゃなかったらいいのでしょうか、聖書を歴代見るとみんな豊かです。持っていることはいいことで、持つということは執着していない

から使えるのです。しかし執着している人は自分の為に蓄えておくのです。蓄えたまま流さないからうまくいかないのです。執着正しい量りが持てません。神様の量りはその人の内側（心）を見ます。「人はうわべをみるが、主は心を見る」（Ⅰサムエル16:7）自分を守ろうとする執着を取らなければいけません。

## ■ ③ 与える!!

空気を吸い続けると死んでしまいます。息は吐かないと次を吸えないのです。死海を見てください。土地の養分とミネラルと塩を全部受けているのです。そしてどこにも流さないで、底まで見え見ただけにはとても綺麗ですが、微生物1匹住んでいません。反対にガリラヤ湖は色が真っ茶ですが、当時世界で数えられた魚のすべてが住んでいると言われているような湖です。流すガリラヤ湖は豊かですが、受けるだけの湖は死海になっているのです。私たちは自分の為に生きたら腐るのです。量る量りを変えて、受けるより与える者になりましょう。今あなたは置かれた場所で苦しい状況にあるのかもしれない。しかし「あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたをたえられないような試練に会わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます。」（Ⅰコリント10:13）「今の時のいろいろの苦しきは、将来私たちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足りないものと私は考えます。」（ローマ8:18）だから今諦めてはいけません。「神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます」（マタイ6:33）神様は母の乳房の姿で関わっていてあなたを苦しい目に合わせる訳がないのです。神様はあなたを本当に愛して祝福したいのです。後は私たちがどんな目線かというだけです。完全な神様があなたをよくしない訳がありません。だから私たちが間違った判断をして、間違った量りで見ると「何で神様こんな目に合わせるのですか」と言ってしまうのです。「喜びなさい、もう一度言います。喜びなさい」（ピリピ4:4）「主の良くして下さったことを何一つ忘れるな」（詩篇103:2）その量りで量れば、目の前に起きてる出来事にマイナスの要素があっても、良いものがいっぱいあるのだから関係なくなるのです。

## まとめ

「神は、キリストにあって、この世とご自分とを和解させ、違反行為の責めを人々に負わせないで、和解のことばを私たちにゆだねられたのです。私たちは、キリストに代わって、あなたがたに願います。神の和解を受け入れなさい。神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました」（Ⅱコリント5:19～21）量りを変え、見る見方を変え、神様の目で見てください。